

くらしや景気、財政 良くなったでしょうか

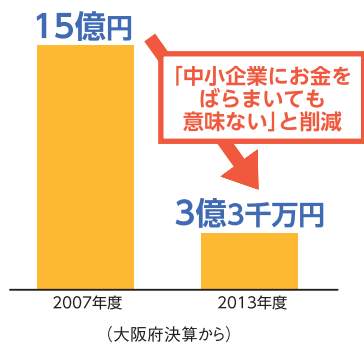
「大阪を変える」と言っていた**今の知事**になって4年。実際は——。言動と事実でみてみましょう。

経済・中小企業

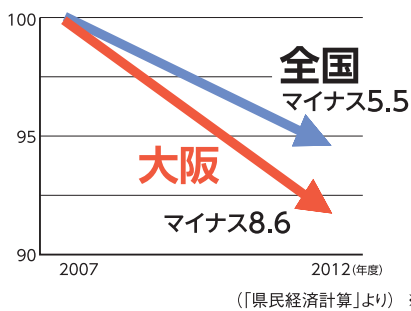
「維新」は Manifesto で「実質成長率を毎年2%以上」と記載。実際は2007年から2012年度の実質成長率はマイナス4%です。

商業振興・ものづくり支援予算を3分の1に削減。「どこにでもある技術はアジアの件費の安い国でやればよい」と発言。大阪経済を支えるものづくり、中小企業、商店街をないがしろにしています。

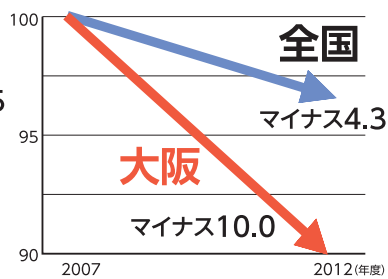
ものづくり・商業予算は激減



雇用者報酬の推移



家計消費支出の推移



教育

「魅力のない学校で定員にも満たない学校に通うことは、生徒自身の成長につながらない」と発言。高校つぶしを推進しています。

高校入試に学力テストの内申点を活用する問題で現場は大混乱。「文科省の慎重な姿勢に従う義務はない」「学テを利用するのがなぜだめなのか」と発言。

パワハラした府教育長を、「問題ない」と擁護。

「校長は、マネジメント能力に長けたものが担うべき」と「公募校長制度」を導入。「口元チェック事件」まで起こしています。

医療

救命救急センターへの補助金カットの復元を求められても、「経営が赤字なら民間にまかせたらい」と拒否。「民間病院が多い大阪では公立病院の役割を見直すべき」と無責任な発言を繰り返しています。

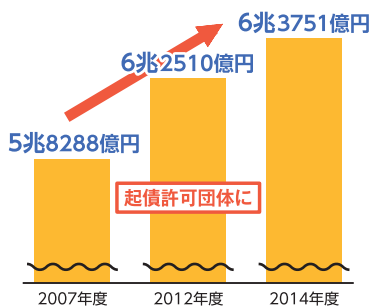
不正・ムダ

政務活動費の不正使用の「維新」議員が続出。知事の退職金ゼロを宣伝。実際には受け取る金額は4年間で348万円も増やしています。咲洲庁舎は撤退をとの追及に「ベイエリアの成長と活性化に咲洲庁舎は必要だ」とムダづかいに固執しています。

府財政

黒字化を宣伝していますが、借金は2011年度の5兆8千億円から6兆4千億円に増え、国の許可がないと新たな借金もできなくなっています。

借金残高



福祉

待機者が急増する特別養護老人ホーム。「他府県より補助単価が高い」と補助金を削減。復元の要求を「財政状況から拡充は困難」と冷たく言い放っています。後期高齢者医療費を抑制するための予算を「全国平均より保険料の伸び率が低い。公費投入による保険料抑制は行わない」と知事の意向でカット。

都構想

「反対多数なら民間人に戻る」と言ったのに、「再挑戦」を表明。「民意」より、自分たちの方が上という態度をとっています。「二重行政の解消で4000億円浮く」(第一回府市統合本部)と言いましたが、実際は、特別区庁舎建設などでばく大なコストがかかり逆にマイナスとなることが判明。今、ダンマリです。

カジノ

国民の反対世論によって国会で前にすすまない事態に「リスクを恐れて何もしないのが日本にとって一番悪いことだ」と推進する姿勢があらわです。



知事さん大丈夫なの？ びっくりポンや！

府市統合本部

府市統合本部の「本部長」は知事ですが、実態は副本部長の橋下氏の意向で次々決定されてきました。府立中之島図書館のあり方では「あんなところに図書館なんて置く必要なし」と言い放つ橋下氏。本部長である知事は「(民間活用すると)すごいスポットになる」と追隨するのみです。